



◇労働雇用政策室の『人権啓発ビデオ』のご案内

～人権啓発などの研修教材としてご活用ください。～

※希望するビデオが貸出可能かどうか、当室へ事前にご確認ください。

労働雇用政策室（市役所総合庁舎14階）

電話：06-4309-3178 ファクス：06-4309-3179

HP2次元バーコード▶▶▶

ホームページ：http://www.city.higashiosaka.lg.jp/soshiki/44-4-0-0-0_6.html



▶ビデオコーナー

NO.	タイトル	ビデオ媒体	時間
1	愛は海より深く (1995年作品) 揺れ動く国際社会の中。外国人から見た人権意識に視点をあてる！サンコンは語ります。 「僕の肌、黒いでしょ・・・肌の色隠せないの」「僕思うの、心の問題が差別をなくしていくの」 「だって、同じ地球に住む人間だもの・・・」	VHS	(時間/55分)
	一枚の案内状 (1989年作品) 同和問題の企業研修実践をより豊かなものにするためにご活用ください。	VHS	(時間/20分)
3	輝ける日々へ (1993年作品) 希望に胸をふくらませ、社会に飛び立とうとする少女の前に差別の厚い壁が立ち塞がる。本人の能力・適性以外のごことが採用の基準にされた場合・・・。	VHS	(時間/42分)
	家族 ～部落差別を生きる～ (1988年作品) 親子二代にわたって差別を受け続けている一家、他の地区から来て、結婚後、差別の厳しさを知る妻。それぞれが語る結婚差別の体験と実態。同和地区の人々の仕事も丹念に写しながら、カメラとマイクは、21歳の青年の自殺が引き起こした波紋を追っています。	VHS	(時間/35分)
5	企業と同和問題 (1985年作品) ある企業の新入社員に対する同和研修を舞台に、企業の方々に同和問題を正しく理解していただくために作られた作品です。	VHS	(時間/30分)
	心の壁 (1990年作品) 同和問題研修推進員になった主人公が、企業や社会に残る差別意識や偏見の中で苦悩します。かつて差別の現実から逃げた彼は、今、揺れ動く心の中から自らの意識を変革し、現場の意識も変えていこうとします。その中で何を学んでいくか。何をなすべきか。その生き方を描くことにより、今日の人権問題を考えていただく手がかりを提供しています。	VHS	(時間/54分)

NO.	タイトル	ビデオ媒体	時間
7	心のどこかに	VHS	(時間/30分)
	(1994年作品) 自分の心に差別心が・・・が。人間は、この世に同じように生をうけながら、生まれた所や、住んでいる所によって差別を受ける。そんな不合理なことがあっていいのでしょうか・・・？		
8	心みつめて	VHS	(時間/47分)
	(1991年作品) 周囲の結婚差別の壁を乗り越えて結婚した若い夫婦。ある日思いがけない出来事から二人の心は揺れ動きます。		
9	叫びとささやき	VHS	(時間/45分)
	(1992年作品) 被差別部落である更池における「今日的な差別とは何か」を縦軸に、部落差別と在日韓国・朝鮮人差別を横軸にして構成されたドキュメント作品です。		
10	辞 表	VHS	(時間/38分)
	(1992年作品) 希望に燃え女性専門職として入社した秀美だったが、何気ない一言一言が同和地区出身の秀美には絶えられない日々が続き、生きる望みさえ失いかけた……。がその時、同僚・上司・先輩のかけてくれた言葉が秀美の心を動かし、消えかけていた人への信頼の灯火が、再び燃えはじめました。		
11	竹の子のうた	VHS	(時間/54分)
	(1989年作品) あることから若い青年と出合った主人公が、識字を通して文字の読み書きに苦しみながらもたくましく生きる人たちをみて、勇気づけられていきます。		
12	チェリーブラッサム(アニメ)	VHS	(時間/42分)
	(1992年作品) このアメーzing・アニメーションは、3つのエピソードでオムニバス構成されています。私たちが友情や愛情のかかわりの中で、差別と直面した時どうするかを、問いかけを映画化した作品です。		
13	素顔の心で ～えびす食堂 幸せばなし～	VHS	(時間/53分)
	(2000年作品) 数知れない昼と夜のはざまで、交錯する人々。幸せを求め、安らぎをしたう日々の暮らし。素顔の心で、みんなが手をつなぐために私たちは、いま……。		
14	にぎやかな家族	VHS	(時間/55分)
	(1991年作品) 東京のサラリーマン家族が関西のある同和地区に引っ越した。初めて出会う同和問題への家族一人ひとりの反応と態度の変容を明るく伸びやかなタッチで描き、心の奥にひそむ差別意識の克服に努力する過程を通して、人間どうし心から結びつくことの素晴らしさを訴えます。		

NO.	タイトル	ビデオ 媒体	時間
15	はじめての手紙	VHS	(時間/54分)
	<p>幼い頃に離れ離れになった兄と妹。再会した二人は・・・。口下手な兄は、その思いを伝えることができない。妹は、兄に手紙を欲しいとねだった。字が書けなかった兄は、もう特訓の末書くことができた。はじめての手紙に妹への思いを込めた。</p>		
16	はるか素顔の19歳	VHS	(時間/54分)
	<p>(1991年作品)</p> <p>この作品は、フログルファーになる夢を抱いてゴルフ場で働く若い女性が、一人悩むものの、先輩や友人の誠実な生き方を学び、勇気づけられ、力強く生きる姿を描き、今日の人権・同和問題について考える手がかりを提供する作品です。</p>		
17	春をまつ雪	VHS	(時間/53分)
	<p>(1995年作品)</p> <p>私・・・こんな位で負けません。今まであったこと決して忘れません。でも、思い出したりほしくない。前をわいて生きていきたいから・・・。私の家族がいるから！差別された悲しみをのりこえて支えあう喜びと愛に生きる感動のドラマ！</p>		
18	ワーク・ライフ・バランス ～働きがいのある職場と生き生きした暮らし～	VHS	(時間/27分)
	<p>2007年制作/内閣府男女共同参画局編</p> <p>「発信力アップ養成講座 ビデオ入門編」の受講生(5名のインタビュー)の作品です。 ワークライフ・バランス。それは多様化する生活スタイルや働き方に対する新たな取り組みです。充実した暮らしとは何か。働くことへのモチベーションを高めていくためには。仕事と生活の調和を図るためにワークライフ・バランスを推進する、組織や個人の取り組みを紹介します。</p>		
19	星空のハイスクール	VHS	(時間/54分)
	<p>(1989年作品)</p> <p>あることから若い青年と出会った主人公が、識字を通して文字の読み書きに苦しみながらもたくましく生きる人たちをみて、勇気づけられていきます。 文字を覚えるために識字学級に通っていた母親が、その後、息子が通う定時制高校に入学し、若いクラスメートとの友情をとおして人生をみつめなおします。</p>		
20	燃えろ！青春のかがり火(アニメ)	VHS	(時間/30分)
	<p>(1992年作品)</p> <p>二人の若いカップルが結婚差別に正面から立ち向かい、やがてその姿に感動した周囲の人々の共感を呼びます。</p>		
21	もっとフレンドリーに	VHS	(時間/54分)
	<p>(1992年作品)</p> <p>二人の子供を持つ母親が、子供達に次々と起こる出来事から次第に差別意識を持つ自分に気づいていきます。</p>		
22	二つめの門	VHS	(時間/54分)
	<p>(1995年作品)</p> <p>企業が独自に使用している管理用紙、いわゆる「社用紙」を通して、従業員一人ひとりがどのように感じているのか、そこに人権上の問題点が内在していることに気付くか気付かないのか、こうした問題に個人として、企業としてどのようにかかわっていくのか、ということ問いかけています。</p>		

NO.	タイトル	ビデオ媒体	時間
23	霧の中の真実	VHS	(時間/54分)
	<p>(1995年作品)</p> <p>20年前、地名総監を購入した会社の一社員として知り合った二人が会社を辞めた後、再びかわりを持つ。地名総監とは、企業にとって何を意味したのか。地名総監を契機として、本当の自分を求めようとする二人の男性を通じて、企業の在り方を鋭く問いかける。</p>		
24	さわやかスーパーウーマン	VHS	(時間/54分)
	<p>(1992年作品)</p> <p>スーパーのレジ係として働く女性たちが、ごく日常的な生活の中の差別に気づき、その不合理に怒って立ち向かう姿を描き、さらには、新しい世紀にふさわしい社会的連帯のあり方と、女性としての生き方を見つめたさわやかなスーパーウーマン（スーパーで働く女性）の物語です。</p>		
25	見えない凶器、偏見	VHS	(時間/29分)
	<p>(1991年作品)</p> <p>「人づてに聞いた事柄は真実が分かるまでは態度を保留すべきだ」とは、ドイツの経済学者シュレンガーの言葉だが、これが本作品のねらいでもある。受刑者を父に持つ一家を巡って町の人々が予断による悪意を投げかける中で偏見について考えます。</p>		
26	職場のセクシャル・ハラスメント	VHS	(時間/23分)
	<p>(1999年作品)</p> <p>セクシャル・ハラスメントは、人権に対する冒？、権利の侵害であり、雇用差別と同様、当事者の主観的意図と無関係に成立する。そうしたテーマを雇用機会均等委員会のガイドライン、最高裁の判例をベースに具体例を通して解説します。</p>		
27	八人は考えた	VHS	(時間/30分)
	<p>(1994年作品)</p> <p>ある職場に差別事件が起きた。本作品は、その事件を契機に、差別された青年の同僚や上司たち八人で持たれた会議の過程を、同時進行形でみていくことを通じ、職場の啓発がどうあるべきか、不況下の企業の生き残りどう結びつくかを問いかけます。</p>		
28	ザ・会社 ～えせ同和行為をなくすために～	VHS	(時間/40分)
	<p>(1993年作品)</p> <p>えせ同和行為による被害はどの会社にも起こる可能性があります。これに直面した担当者を主人公に、彼が何に悩み、どう対処し、どう解決していったかを描き、それを排除するには会社をあげて取り組むことがいかに大切かを訴えます。</p>		
29	雨あがり	VHS	(時間/55分)
	<p>(1997年作品)</p> <p>あなたの地域や職場、身近なところに差別はありませんか？金融破綻があいつぐ日本！銀行に勤める若者が同和問題に直面し、上司の間違った考え方を正していきます。そして「正しく人を見る」「正しく企業を見る」心が大切であることを学びます。</p>		
30	言葉と差別パートIII	VHS	(時間/23分)
	<p>(1992年作品)</p> <p>意図的に相手を攻撃するような言葉はもちろんのこと、何気ない言葉も凶器になる場合があります。いずれにしても、凶器となる言葉には、発した人の人間性の一端が潜んでいるといえます。差別的な言葉には、必ず差別的な意識が存在しているのです。ここでは、なぜ言い換える必要があるのかということ深く考えると共に、その差別意識を克服していく生き方を見いだしてほしいということを強く訴えています。</p>		

NO.	タイトル	ビデオ媒体	時間
31	大山君、奮戦す！ (1997年作品)	VHS	(時間/56分)
	同和問題の解決のために、企業は地域社会の一員として果たすべき役割と責任を負っており、企業としての啓発活動への積極的な取り組みが求められています。この作品では、見せるだけでなく、それを素材として議論していただくための問題提起型の内容として3作の短編からなるオムニバス形式で、1作品だけでも研修の題材として活用できます。		
32	わかりあえる季節(とき) (1997年作品)	VHS	(時間/52分)
	「自分は差別していない」と思っている人たちの心の中にある差別性を気づかせる内容で、差別のない家庭・地域・職場・学校等をつくるための実践のあり方を示唆し、部落差別の解消をねらいにしたものです。実際に起きた差別事象をもとに構成されており、物語は、在日韓国・朝鮮人に対する差別をはじめ日本における様々な人権問題をからめて展開されていきます。		
33	風化からの告発 (1999年作品)	VHS	(時間/32分)
	1975年の部落地名総監事件から二十有余年。あの時の戒めを破り差別を商う調査会社。企業と市民の差別意識を鋭く問うドキュメント映像です。		
34	セクハラの代償 (1999年作品)	VHS	(時間/24分)
	セクハラは、被害者・加害者間の個人レベルの問題にとどまりません。組織における労働意欲や生産性の低下をもたらしたり、有能な人材を失ったり、莫大な損害賠償請求、さらには不買運動にまでも発展しかねません。セクハラの徹底防止は、経営戦略の重要なファクターなのです。女性の能力を最大限に生かす職場作りが活力ある組織へと導きます。		
35	勇気への出発 (1998年作品)	VHS	(時間/52分)
	「差別は悪い」と思っても、自分が差別に直面した時、隠れていた偏見や差別意識があらわになる人、問題の解決に努力する人、人間の強さと弱さが浮き彫りにされます。この作品は、人との出会いの中で「差別をなくす」営みへと、全ての人たちの意識が変わっていくための「ほんとうの勇気」とは何かを問いかけます。		
36	元気あります (2000年作品)	VHS	(時間/53分)
	企業内での現実をリアルに捉えながら、人権問題研修担当の主人公とその仲間たちとの葛藤とさわやかな青春群像を描いた作品です。同和問題研修開催という一つの目標に向かって、主人公が日夜大奮闘します。		
37	あずに生きる (2001年作品)	VHS	(時間/35分)
	激しい競争の中で忘れられがちな企業内の人権問題(障害者、性、リストラ等)を改めて考えてもらうことによって、企業の中での社員同士の人権や企業が社員を大切にすることの重要性を訴えています。また、企業の社会的役割について、地域との交流やユニバーサルデザイン(障害の有無に関わらず、誰もが無理なく利用できる商品、サービス、設計など)を通して再確認してもらうこともねらいとしています。さらに、社員とその家族とのふれあいの中から、企業・社員・家族の関係や家庭人としてのあり方について考えさせられます。		
38	風かよう道 (2001年作品)	VHS	(時間/35分)
	この作品は、古い因習にとらわれている主婦とその家族を通して、六曜、占い、穢れなどが差別意識を形成する土壌となっていることを提起しながら、今日的な問題であるコンピューターを悪用した差別事件も絡めて展開していきます。鑑賞するだけでは終わらない、人権・同和問題において学習すべき問題点をしっかり提起する教材用ドラマです。		

NO.	タイトル	ビデオ媒体	時間
39	変えよう！企業風土 ポジティブ・アクションの実践 (2000年作品)	VHS	(時間/23分)
	<p>女性も男性も生き生きと働きつつけられる企業—それが21世紀に求められる企業像です。男女雇用機会均等法や育児介護休業法が整備されましたが、法律で権利が定められただけでは、なかなか企業風土は変わりません。厚生労働省のガイドラインには、女性の管理職増加などの他に、職業と家庭の両立や企業風土の改善も含まれています。ポジティブ・アクション（積極的男女平等促進策）を実践している企業の例をあげており、そのような企業は21世紀に発展する可能性に満ちています。</p>		
40	Meet theヒューマンライツ ～若者たちが出会った人々～ (2002年作品)	VHS	(時間/27分)
	<p>本作品は、6人の若者たちが、人権問題に取り組んでいる人や当事者の人たちと実際に会い、話を聞き、事実を知り、率直に話し合います。そして、自分の中で、あるいは世間の中で、日常的に無自覚に行われてきた言動に潜む「偏見や差別」を自覚します。その「発見」は人権問題を他人事としてではなく自分自身の問題として考えることにつながるのです。これは若者たちの「人権」との出会いと発見を、彼ら自身の言葉で描いたドキュメンタリーです。</p>		
41	おはようの声が響く街に！ (2002年作品)	VHS	(時間/35分)
	<p>差別を受けながらも希望を見だし、それを乗り越えて力強く生きる三世代の家族。一方、差別をしてはいけないことを知りながら、世間体にごたわる両親の心を正していく高校生。その二つの家族の葛藤から学ぶ、人権尊重の社会をめざす感動の人権問題学習教材用ドラマです。</p>		
42	一人ひとりの心は今！ (2003年作品)	VHS	(時間/34分)
	<p>えせ同和行為に対してひるむことなく、一貫してき然とした態度で拒否し、また障害者問題を社内で取り組んでいく若い社員達の姿を描く感動の人権啓発ドラマです。</p>		
43	「私」のない私～同調と傍観～ (2003年作品)	VHS	(時間/30分)
	<p>人権侵害に気づいているのに行動できない私。行動化を妨げている同調と傍観について、ドラマと解説部の2部構成で問題提起しています。人権研修やワークショップの活用に最適な新しいタイプのビデオ教材です。</p>		
44	郡上一揆 (2000年作品)	VHS	(時間/112分)
	<p>江戸時代、藩主による過酷な年貢米の取り立てに抗して、農民たちは大小さまざまな農民一揆を起こした。なかでも、岐阜・郡上の地で起きた「郡上一揆」は、その規模といい、足掛け5年という年数の長さといい、「江戸時代三大一揆」といわれている。特筆すべきは、江戸幕府を巻き込んだこの一揆が、郡上農民の死闘の末に、結果として藩主更迭という勝利に終わったこと。江戸時代、他に例を見ない唯一のものである。</p>		
45	心をむすぶ愛のハーネス 「盲導犬カンナ私と走って」より (2010年作品) 文部大臣賞受賞 最優秀作品賞受賞	VHS	(時間/55分)
	<p>～盲導犬カンナわたしと走ってより～ 全盲の小百合さんは中学時代に失明。一時は希望を失いましたが、盲導犬カンナと出会い5キロのロードレースに挑戦。みごと走り抜いたことで多くの人々に勇気と感動をあたえました。力強い感動が心に残ります。</p>		
46	マイ・プロジェクト ～すべての人の人権が尊重される豊かな社会を目指して～ (2003年作品)	VHS	(時間/60分)
	<p>企業で職場研修を行う際に教材として広く活用され、すべての人の人権が尊重される職場づくりに役立てていただくことを目的に製作したものです。研修目的に応じて活用していただけるように、2つのそれぞれのストーリーからなるオムニバス形式でございしています。研修参加者の「話し合い学習」に話題を提供していくという点から、それぞれの主人公が「マイ・プロジェクト」とは何かを問いかけ、さまざまな人権問題に一人ひとりがどう対処すべきかを考えることで人権を尊重する行動につながることをねらいとしています。</p>		

NO.	タイトル	ビデオ媒体	時間
47	男女共同参画時代のセクシュアル・ハラスメント（2本組）	VHS	（時間/計42分）
	<p>（2004年作品）</p> <p>・第1巻セクシュアルハラスメントの対策事例（22分）・第2巻ケースで考えるセクシュアル・ハラスメント（20分）</p> <p>「男女共同参画社会基本法」の制定により、男女平等社会を実現するための施策が推進されます。それに伴い、勤務環境の整備という観点からも、セクシュアル・ハラスメントはより重要な課題となります。男女共同参画社会基本法の基本理念である「人権」に焦点を当て、セクシュアル・ハラスメントが起きる現象を見ながらその「真の原因」を検証し、解決に必要な対応方法を提示する教材です。</p>		
48	女性の人権を考える	VHS	（時間/25分）
	<p>（2002年作品）</p> <p>男女機会均等法が次第に浸透し、ドメスティック・バイオレンス防止法も施行されるなど、男女の平等を守るための法的環境は少しずつ整備が進んでいます。しかし、私たちの意識の中に残る女性差別意識は解消されたのでしょうか。このビデオでは、ドメスティック・バイオレンスの被害者の方やセクシュアル・ハラスメントの被害者の方の実際の体験をお聞きする中から、女性差別の根元にある意識を問います。そして、私たちの中にもこうした意識が根強く残っていないかを考えていきます。</p>		
49	今でも部落差別はあるのですか？	VHS	（時間/38分）
	<p>（2005年作品）</p> <p>差別には、見えるもの（実態的差別）と見えないもの（心理的差別）とがあります。同和地区の外で再生産される偏見・差別と忌避する気持ちという今日的な問題についてドラマで提起し、解決の道筋を考え合うビデオです。</p>		
50	みんなで取り組むメンタルヘルスケア（2本組）	VHS	（時間/計40分）
	<p>（2004年作品）</p> <p>・第1巻 あなたの家族、大丈夫？～家族の支え～（20分）</p> <p>・第2巻 復帰のスタッフ～職場の支え～（20分）</p> <p>心の健康問題は、今や職場全体の課題。円滑な職場復帰を事業場全体で支援する体制づくりを解説する待望の教材です。厚生労働省の「心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引きについて（2004年10月14日発表）」に基づき、メンタル不全には職場や家庭などで様々な原因があることと、簡単な対応方法も紹介します。</p>		
51	人権入門 ～日常から考える10のヒント～	VHS	（時間/23分）
	<p>（2005年作品）</p> <p>ある男性が一日を追い、その一日の出来事の中で「人権を考える10のチェックポイント」を用意し、日常の中の身近な人権を改めて考えていきます。それぞれがごく日常に起こりうるような、誰の胸にも思い当たるような事柄を、いろいろな角度から日常の中の人権へ切り込んでいきます。</p>		
52	企業と人権シリーズ1 部落地名総鑑事件30年企画作品	VHS	（時間/30分）
	<p>（2005年作品）JunとKeiの企業と人権</p> <p>人権をビジネスチャンスに！今、人権新世紀が始まる。（3分33秒）、男性・女性（3分48秒）、障害者（4分48秒）、外国人（4分54秒）、部落差別（6分40秒）について、漫才師のJun & Keiが人権漫才をわかりやすく繰り広げる。企業での人権研修に、人権問題を幅広く・わかり易く学ぶための教材です。</p>		
53	企業と人権シリーズ2 構えない隠さない飾らない ～障害者雇用最前線～	VHS	（時間/36分）
	<p>（2006年作品）</p> <p>障害者雇用に取り組む最新のユニーク7事例を徹底取材。決められたから守る、義務だからやるという消極姿勢とは無縁に、障害者の隠れた「能力」豊かな「才能」に気づき、引き出し、戦力化するための具体策が満載。</p>		

NO.	タイトル	ビデオ媒体	時間
54	企業に求められる人権意識とは？ (2006年作品)	VHS	(時間/24分)
	「企業の社会的責任・CSR」「ユニバーサルデザインへ」「採用選考の基本」「障害者の社会参加」「派遣社員」「環境問題」など、今企業に求められている人権意識について考えます。		
55	防ごう！パワー・ハラスメント (2006年作品)	VHS	(時間/20分)
	パワー・ハラスメントとは、職権などを背景に適正な範囲を超えて継続的に人格や尊厳を侵害する言動。このビデオはミニドラマとナレーションで構成され、どういった言動がパワーハラなのか、どうすれば防げるかなどを考えてもらいます。解説とともに振り返り、どこに問題があったのかを検証していく構成です。		
56	企業と人権シリーズ3 ～外国人労働者問題から多民族共生を考える～ (2007年作品)	VHS	(時間/32分)
	従業員の2割が中国人という大阪の中堅建設会社に密着取材。研修・技能実習制度を利用した人事の育成・確保の実態をドキュメントしながら、利潤追求というリアルな現実のなか、どう人権問題と真剣に向き合ってきたのか、中国口を交えながら描きます。さらに、その生の声や地域の支えにも触れていきます。		
57	選考基準 ～公正な採用のために～ (2008年作品)	VHS	(時間/24分)
	人材を採用するときには、応募者の基本的人権に配慮し公正な採用選考を心がけることが大切です。このビデオは、企業サイドと応募者の両面から採用選考の場面を描き、企業にとっても応募者にとっても幸せな採用選考のあり方を考えるものです。		
58	パートタイマーの“やる気”を企業活力に ～均等処遇で活かせパートの人財力～ (2005年作品) 短時間労働者雇用管理事例紹介DVD	VHS	(時間/27分)
	近年、正社員が行っているような管理業務や指導業務を行うパートタイマーも増えてきています。労働者不足が見込まれる中、企業にとって人財となるパートタイマーを確保するとともに、パートタイマーの能力と「やる気」を引き出し、企業の活性化につなげていくための取組が企業にとってますます重要になってきます。そのような取組を行っている企業を紹介し、パートタイマーの処遇制度の見直しの参考にするために制作されました。		
59	差別意識の解消に向けて1 ～人権のまちづくり～ 「第1巻：府(市)民向け」 (2006年作品) 大阪人権問題映像啓発推進協議作成ビデオ	VHS	(時間/29分)
	「同和地区の土地に対する忌避意識」をその根底とする差別意識の解消に向けて「人権のまちづくり」に取り組んでいる府内の現場を訪ね、まちづくりをとおして差別や偏見の解消に取り組む人々の思いを伝えます。		
60	差別意識の解消に向けて2 ～宅地建物取引における土地差別～ (第2巻：宅建業者向け) (2006年作品) 大阪人権問題映像啓発推進協議作成ビデオ	VHS	(時間/22分)
	大阪府内で実際にあった宅地建物取引での差別事象の再現生の声を紹介し、実際の取引において人権問題に直面したとき、どのように対処するべきか、人権意識の高揚がいかに大切かを映像をとおして共に考えます。		

※人権文化部人権啓発課でも上記以外のDVD・ビデオをご準備しています。▶▶▶

人権啓発課ホームページ(啓発資料貸出) ▶▶▶

http://www.city.higashiosaka.lg.jp/soshiki/8-4-0-0-0_3.html

